

富山市高齢者総合福祉プランの策定に向けて （高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画） （令和6年度～令和8年度）



いつまでも健康で自分らしく、
生きがいや安心感、幸福感を感じながら暮らしを営み、
尊厳をもって人生の最期を迎えられる社会の実現のため
一緒に考えてください

富山市

1 高齢者総合福祉プランとは

2 富山市の施策の取組について

3 高齢者を取り巻く現状と今後の見込み

4 次期高齢者総合福祉プランの策定について



1 高齢者総合福祉プランとは

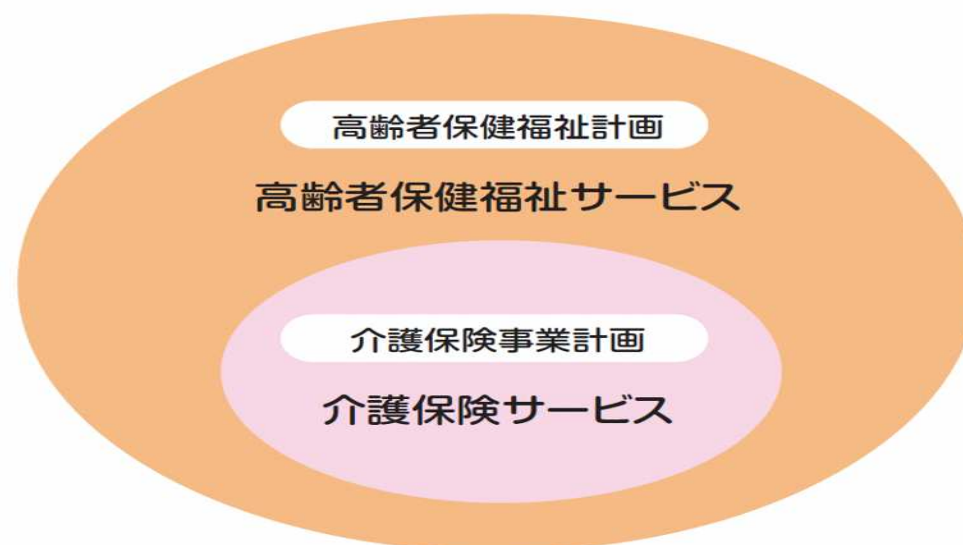
① 高齢者総合福祉プランの趣旨

高齢者の保健福祉に係る本市の目指すべき目標を定め、
具体的な施策を展開するための計画として、

老人福祉法に基づく老人福祉計画と

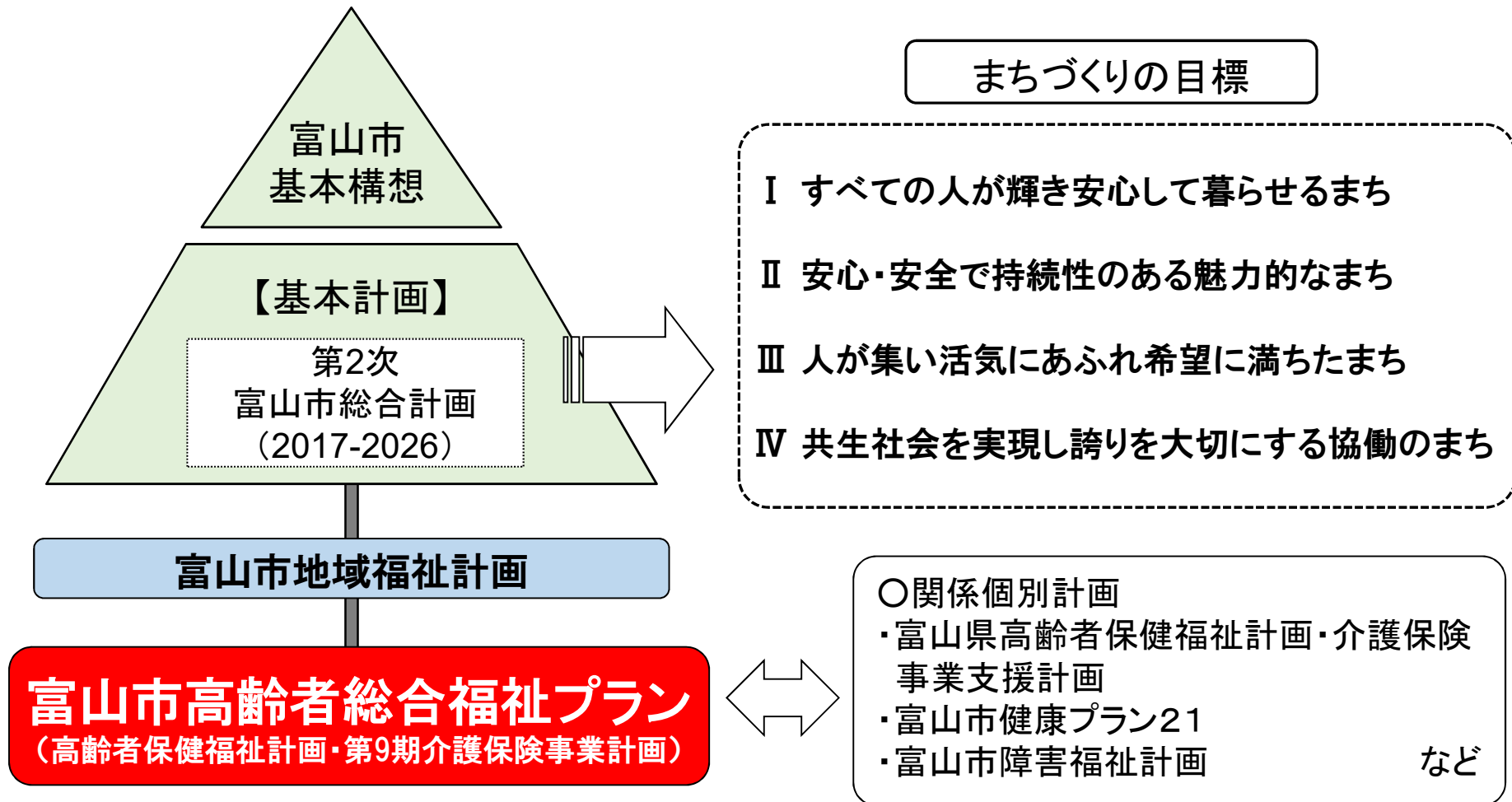
介護保険法に基づく介護保険事業計画を一体のものとした

「高齢者総合福祉プラン」を策定しています。



② 高齢者総合福祉プランの位置付け

本計画は、「第2次富山市総合計画」との整合を保ち、高齢者の保健福祉施策を具体化するため策定するものです。



③ 現行プランにおける基本理念等について

【基本理念】「みんなでつくる、ぬくもりのある福祉のまち」

5つの施策の柱

- I 健康づくりと介護予防の推進
- II 生きがいづくりと社会参加の推進
- III 地域における自立した日常生活を支援する体制の整備
- IV コンパクトで潤いと安らぎのある魅力的なまちづくり
- V 介護保険事業における保険者機能の強化

重点テーマ

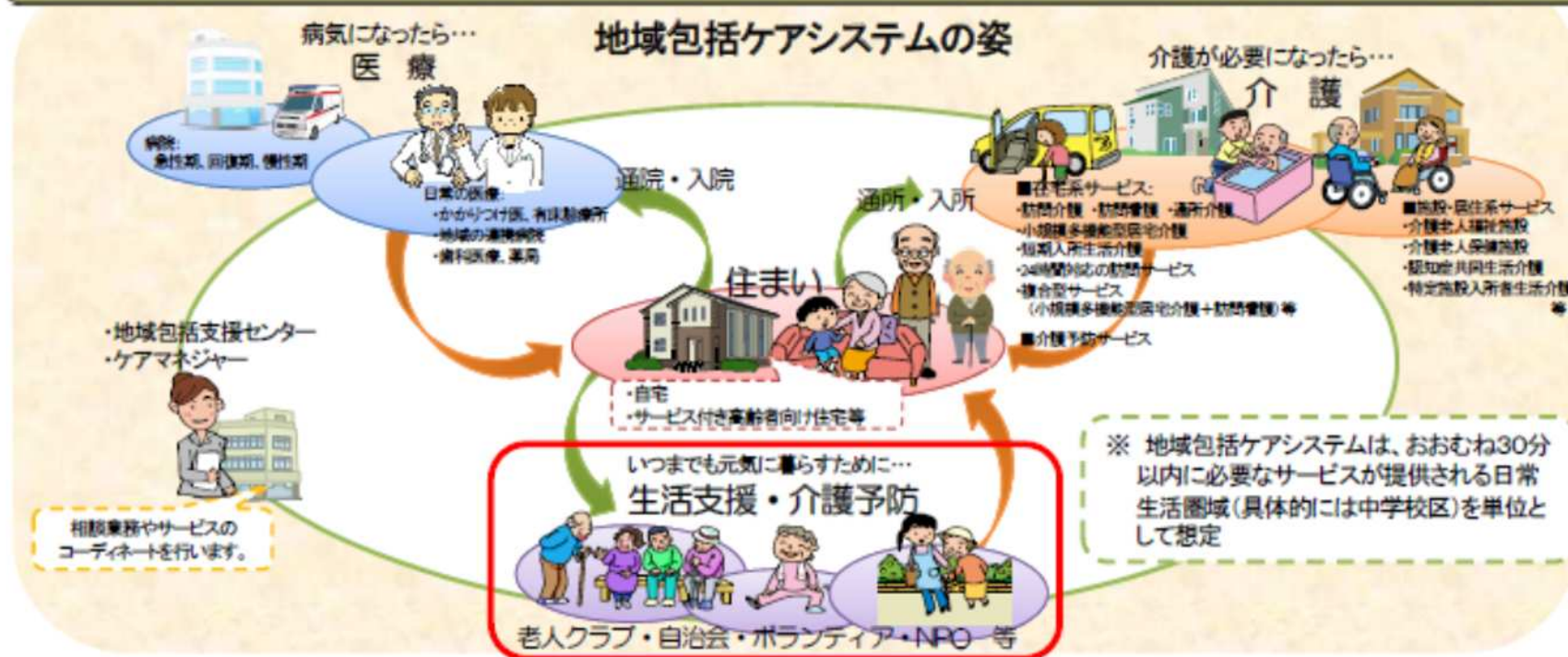
- (1) 「閉じこもり予防」から、「多様」で「適切」な「切れ目ない」介護予防施策の推進
- (2) 認知症施策の推進
- (3) 医療・介護連携を推進する体制の構築



2 富山市の施策の取組について

① 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



② 富山市の高齢者福祉施策

■ 介 護

保険給付

◎居宅介護(介護予防)サービス
訪問、通所、短期入所など

◎施設サービス
特別養護老人ホーム
介護老人保健施設
介護医療院

◎地域密着型サービス
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
小規模多機能型居宅介護
グループホームなど

◎福祉用具、住宅改修

◎ケアプラン・介護予防ケアプランの作成

介護サービスの基盤整備

施設サービス、地域密着型サービスの
計画的な整備

介護給付の適正化

ケアプランの点検、研修
事業者への指導など



② 富山市の高齢者福祉施策

■ 介護予防

壮年期からの健康づくり

生活習慣の改善
(プラス1,000歩富山市民運動、
8020運動の推進)

心の健康づくり

うつ病に関する講座
ゲートキーパー養成

生きがい対策づくり

老人クラブ活動の支援
シニアライフ講座、高齢者農園
高齢者いきがい工房



健康寿命の延伸

パワーリハビリテーション事業
角川介護予防センター
介護予防教室
楽楽いきいき運動
介護予防推進リーダー
(水のみ運動、簡単チェックリスト、声かけ)

外出支援の促進(閉じこもり防止)

老人福祉センター・老人憩いの家
介護予防ふれあいサークル
いきいきクラブ
シニアライフ講座、高齢者農園
ふれあい入浴事業
おでかけ定期券、おでかけタクシー券
孫とおでかけ支援事業
高齢者移送サービス

② 富山市の高齢者福祉施策

■生活支援

在宅福祉(ひとり暮らし、ねたきり高齢者対策)

緊急通報装置設置事業
福祉電話設置事業
高齢福祉推進員
高齢者移送サービス
おでかけタクシー券
お買い物バス事業(社会福祉協議会)

おむつ支給事業
寝具洗濯乾燥消毒事業
「食」の自立支援事業
除雪支援事業
軽度生活援助事業
地域ぐるみの除雪活動の推進 など



認知症対策

見守りネットワーク
認知症サポーター
徘徊SOSネットワーク
認知症初期集中支援チーム



介護する家族への支援

ミドルステイ
介護手当
徘徊高齢者探索サービス

権利擁護

市民後見の推進
成年後見制度利用支援事業

就業促進

シルバー人材センター

高齢者虐待

一次、二次相談
虐待防止ネットワーク

② 富山市の高齢者福祉施策

■住まい

在宅の支援

ねたきり防止等住宅整備費
居宅介護住宅改修

公営住宅

生活援助員派遣事業(シルバーハウジング)
高齢者向け住宅改善

養護老人ホーム ……2施設 180戸

軽費老人ホーム ……1施設 定員100名

ケアハウス ……8施設 定員521名

有料老人ホーム ……57施設 定員1,740名

サービス付高齢者向け住宅 ……50施設 1,361戸

■医療との連携

多職種協働による連携

まちなか総合ケアセンター
医師会 歯科医師会 薬剤師会
訪問看護ステーション
介護支援専門員協会 介護福祉士会
医療機関 居宅介護支援事業所
地域包括支援センター などとの連携

医療・介護資源の
把握と
情報提供

多職種向け研修

在宅医療・介護連携に
関する相談窓口

多職種連携会議
(課題抽出、
対応策の検討等)

② 富山市の高齢者福祉施策

■ 地域包括支援センターの取組みについて

市内32か所(中核市で最多)に地域包括支援センターを設置し、様々な関係機関と連携をとりながら、高齢者の皆さん住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域のネットワークづくりに取り組んでいます。

■ 地域包括支援センターの業務内容と役割

包括的・継続的
マネジメント

在宅復帰支援
ケアマネジャー支援

主任ケアマネジャー

地域ケア体制の
推進

ネットワークづくり、生活ボランティアの育成、情報誌の作成、介護予防ふれあいサークルの支援

地域ケア推進コーディネーター

社会福祉士

総合相談・権利擁護

認知症や権利擁護・高齢者虐待・消費生活等の総合的な相談

チーム
アプローチ

介護予防
ケアマネジメント

- ・介護予防ケアプランの作成
- ・介護予防教室の開催

保健師・経験のある看護師

③ 富山市のまちづくりと介護予防

公有地を活用した介護予防の拠点施設 ～富山市角川介護予防センター～

小学校跡地を活用し、日本初の温泉水を活用した介護予防施設を整備（H23.7開業）

- 水中運動療法を中心に、陸上運動療法、温熱療法、パーソナルケアなどを組み合わせた介護予防プログラムを提供
- 整備には市民からの寄付金等を活用し、民間企業の指定管理者が管理運営を行う



③ 富山市のまちづくりと介護予防

介護予防の推進(介護予防ふれあいサークル)

足腰が弱く、閉じこもりがちになっている高齢者を誘い出し、介護予防につなげるために活動するサークル。活動内容は、囲碁、茶道、ウォーキング等の趣味活動



介護予防ふれあいサークルとは..

足腰が弱い、閉じこもりのおそれがある高齢者を含め、5名以上で結成し、週1回以上活動するサークル

サークル数	569サークル
参加高齢者数	8,621人
要援護高齢者数	1,518人

(R5.6月現在)

③ 富山市のまちづくりと介護予防

住民主体型通所サービス事業

住民が主体となって介護予防を行う「通いの場」を運営する団体に対して助成を行う事業。これにより地域主体での支え合い体制づくりの推進、高齢者の社会参加の促進及び健康寿命の延伸を図ることを目的としている。

活動内容:通いの場を週1回開催

体操、合唱、スポーツ等



対象団体:65歳以上の方が5人以上参加、
かつ利用者の全体の半数以上が
要支援認定者・事業対象者

令和5年度は12団体が実施中!

③ 富山市のまちづくりと介護予防

高齢者の外出機会の創出 ～おでかけ定期券事業～

交通事業者と連携し、富山市内在住の65歳以上の高齢者を対象に市内各地から中心市街地へ出かける際に公共交通機関を1乗車100円で利用できる制度を実施
高齢者の約20%がおでかけ定期券を所有し、1日あたり約2,051回、約1,065人が利用
(令和4年度実績)



＜おでかけ定期券の申込み＞

65歳以上の方、利用者負担金1,000円

＜おでかけ定期券の利用＞

①利用時間帯: 午前9時～午後5時

②利用区間

〔路線バス〕(H16. 5～)

富山市内各地 ↔ 中心市街地等の区間
中心市街地等 ↔ 中心市街地等の区間
富山市内各地 ↔ 富山市民病院の区間

〔地鉄電車〕(H20. 4～)

富山市内各駅 ↔ 電鉄富山駅
南富山駅

〔路面電車〕(H23. 4～)

市内電車・富山港線・環状線

③ 富山市のまちづくりと介護予防

お出かけ定期券の利用と要介護認定率についての分析

要介護認定率が高まる後期高齢者に着目し、平成23年度に75歳以上であった高齢者の、令和2年度における要介護認定状況を、おでかけ定期券の利用年数の違いによって比較。

■要介護状態の変化

【おでかけ定期 継続利用10年の者】

	合計	R2								
		自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
H23	自立	2,251	1,648	198	151	144	74	17	12	7
	要支援1	43	9	7	16	4	6	0	1	0
	要支援2	19	4	4	5	1	4	0	1	0
	要介護1	2	1	0	0	0	1	0	0	0
	要介護2	3	1	0	0	1	1	0	0	0
	要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	全体	2,318	1,663	209	172	150	86	17	14	7

【おでかけ定期 利用経験がない者】

	合計	R2								
		自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
H23	自立	10,040	5,322	319	471	851	1,053	932	693	399
	要支援1	369	77	19	32	39	59	66	49	28
	要支援2	541	92	7	26	59	115	106	96	40
	要介護1	612	91	1	4	35	111	153	129	88
	要介護2	584	109	1	2	7	73	137	156	99
	要介護3	300	49	0	0	4	11	61	78	97
	要介護4	168	32	0	0	3	3	13	36	81
	要介護5	82	16	0	0	0	1	1	15	49
	全体	12,696	5,788	347	535	998	1,426	1,469	1,252	881

「自立」の中には入院等の事情により介護認定を受けなくなった者を含む

合計	利用年数10年の者	利用経験がない者
合計	2,251人	10,040人
自立を維持	73.2% (1,648人)	53.0% (5,322人)
要介護度が悪化	26.8% (603人)	47.0% (4,718人)

★お出かけ定期券を継続して利用している高齢者は、全く利用していなかった高齢者に比べ、**介護状態を維持**している。

③ 富山市のまちづくりと介護予防

歩くライフスタイルの推進

健康づくりとまちづくりが融合した『歩くライフスタイル』への転換を促し、まちの賑わいやひと・地域との繋がりを育む、持続可能なまちを目指す



富山で歩く生活がもたらす様々な“富”で豊かな生活を送る新たなライフスタイルへ

市民にとっての富

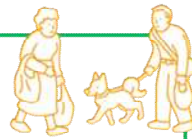


健康



歩くことで、心も身体も元気になります。
無理なく歩くだけで、1歩あたり、0.072円※の医療費削減効果があるとされています。

出会い



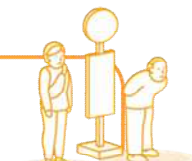
歩く機会が増えると、出会う人も増えます。
たくさんの人とコミュニケーションをとることで、毎日が楽しく充実したものになります。

まち



歩く人が増えると、まちが賑わいます。
賑わっているまちに家族や友達と出掛けると、ただ歩くだけでも楽しい気分になります。

公共交通



公共交通を使い、歩くことで、いつもとは違う景色を楽しむことができます。
外出先でお酒を楽しむこともできます。

※まちづくりにおける健康増進効果を把握するための歩行量(歩数)調査のガイドライン(国土交通省)

③ 富山市のまちづくりと介護予防

スマートフォンアプリ「とほ活」 R元.11月1日 リリース

■ 「とほ活」アプリの機能



① 歩数でポイント

スマートフォンアプリと連動し、毎日の歩数を計測。歩数に応じてポイントを取得できます。
◆1,000歩 → 8pt (1日上限:80pt)



歩数計機能

② 公共交通利用でポイント

駅改札や市内電車、バス車両内に設置されビーコンからの電波を検知して、ポイントを取得できます。
◆1回/日 → 5pt (週1回利用ボーナス:50pt)



③ イベント参加でポイント

まちなかでの催しやウォーキングイベントなどの会場に設置されたQRコードを読み込んで、ポイント取得。◆イベント会場ごとに1回/日 → 最大100pt



取得したポイントで賞品抽選へ応募

R 5.3 末現在 : 16,922人がユーザー登録!

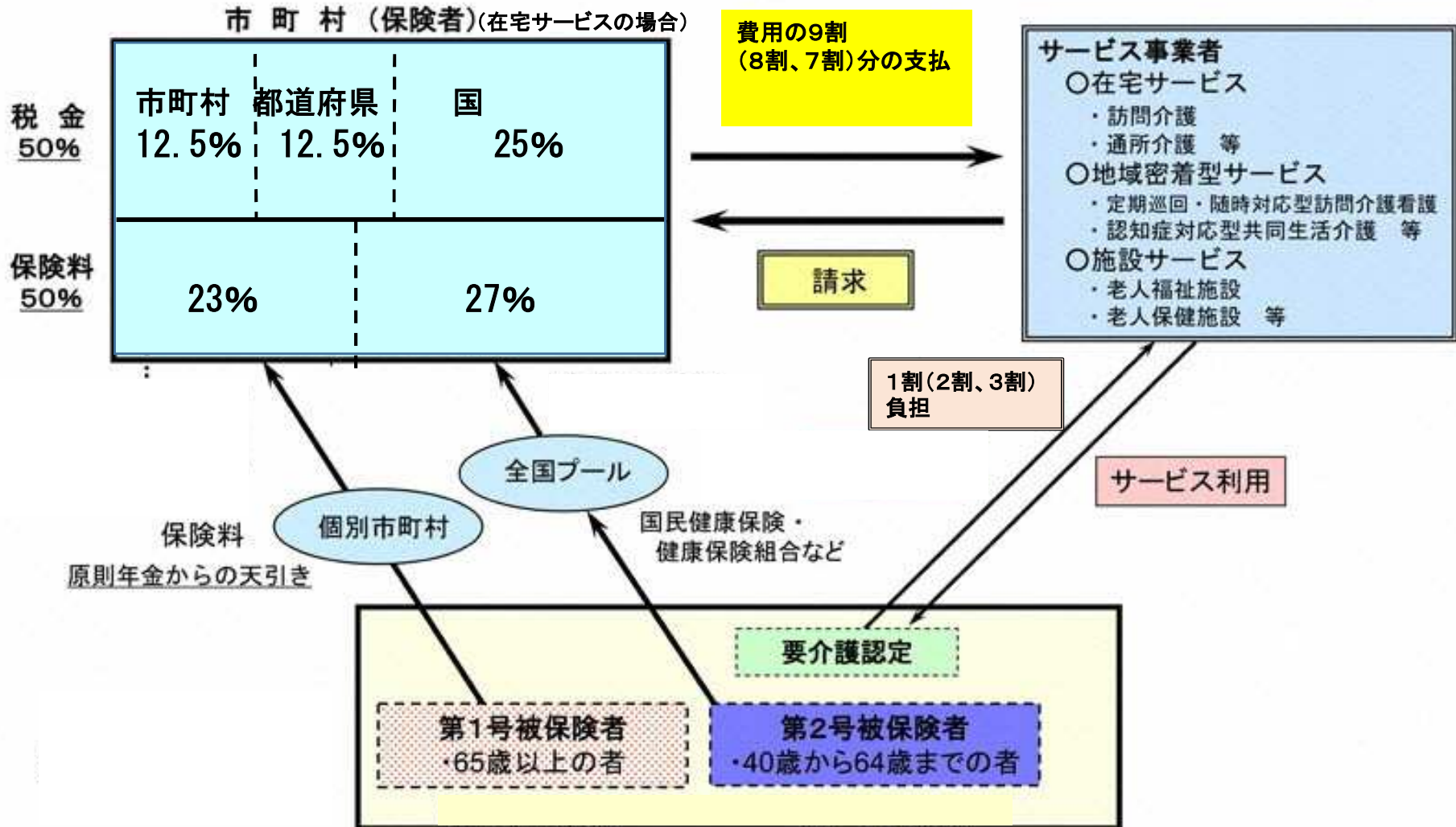


【ビーコン設置箇所】
合計 : 234箇所
(全公共交通機関)

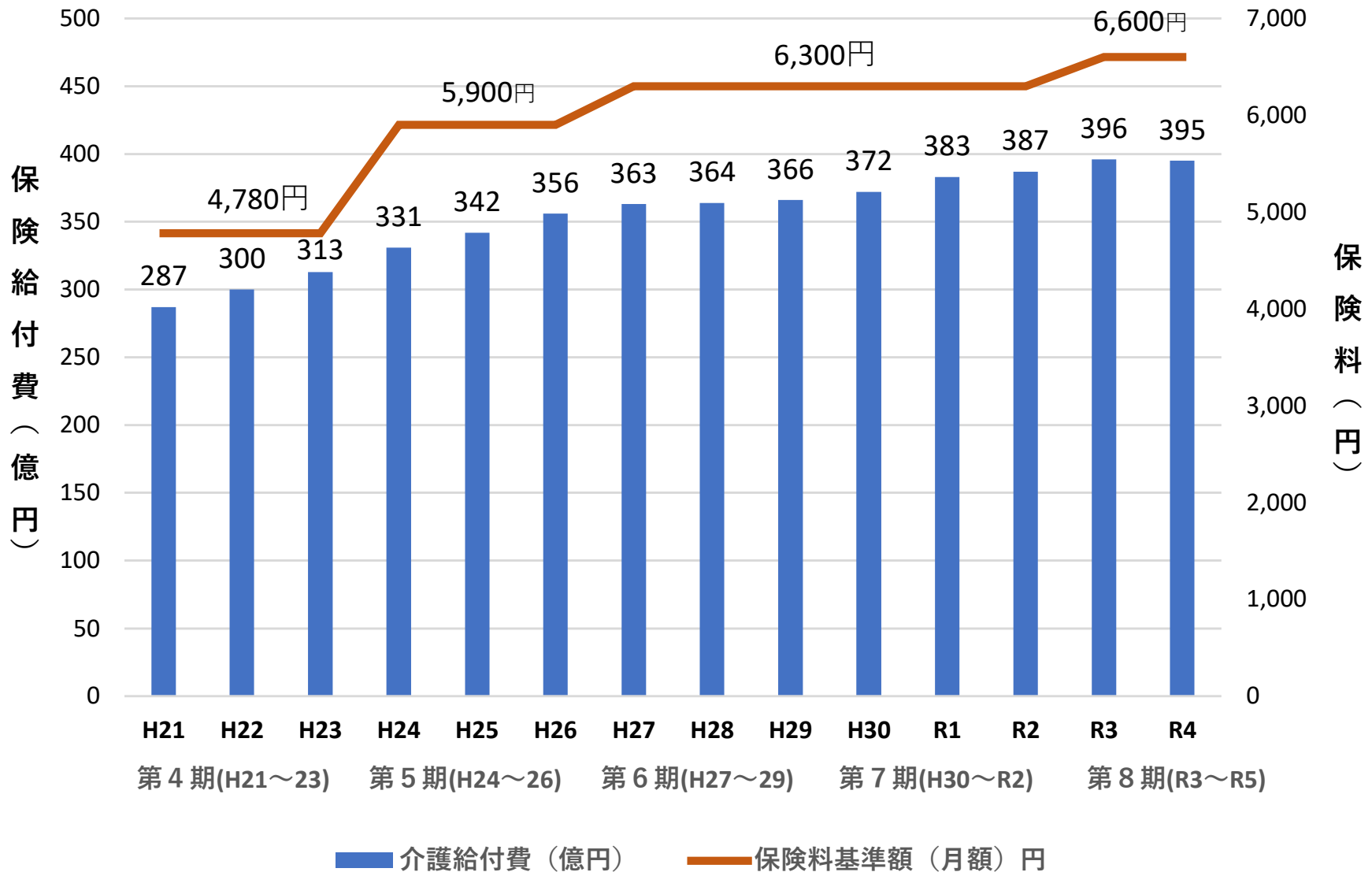
- ① 駅改札やホーム: 43箇所
(JR・あいの風とやま鉄道・富山地方鉄道)
- ② バス・市内電車車両: 191箇所

④ 介護保険制度の仕組み

介護保険制度の仕組み



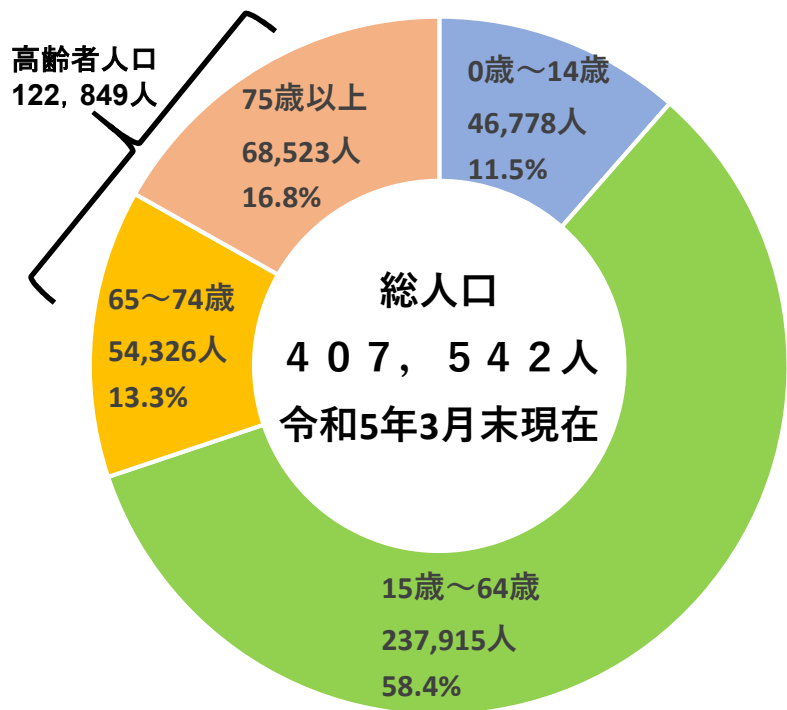
⑤ 保険給付費と保険料の推移





3 高齢者を取り巻く現状と今後の見込み

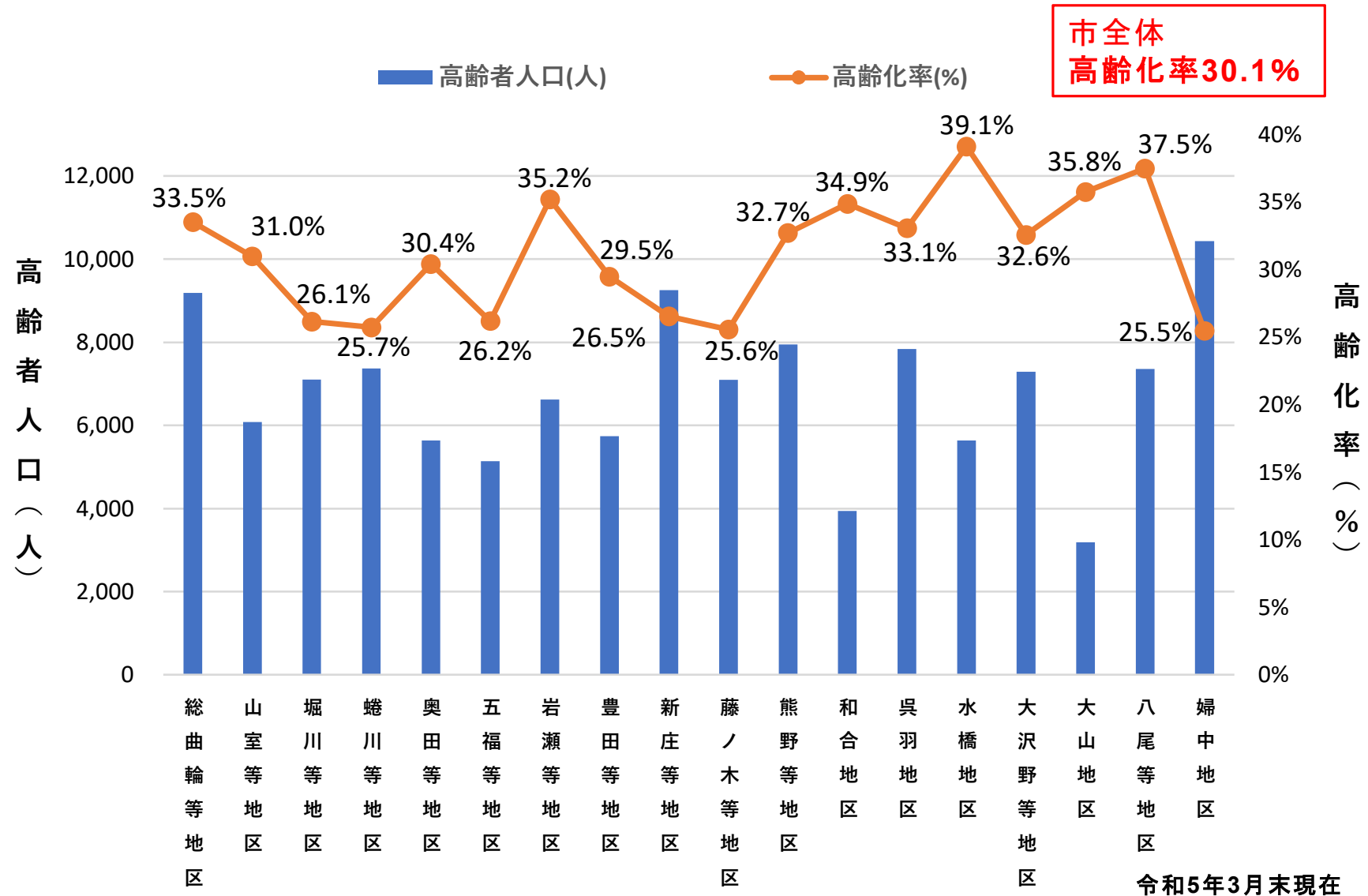
① 富山市の人口と高齢化の状況



		R5. 3. 31現在	比率
全人口	A	407,542人	
全世帯数	B	184,071世帯	
高齢者数	C	122,849人	30.1%(C/A)
65歳～74歳	D	54,326人	13.3%(D/A)
75歳～	E	68,523人	16.8%(E/A)
要介護認定者数 (第1号被保険者)	F	24,423人	19.9%(F/C)
認知症高齢者数	G	9,305人	7.6%(G/C)
			37.5%(G/F)

② 日常生活圏域の高齢化の状況

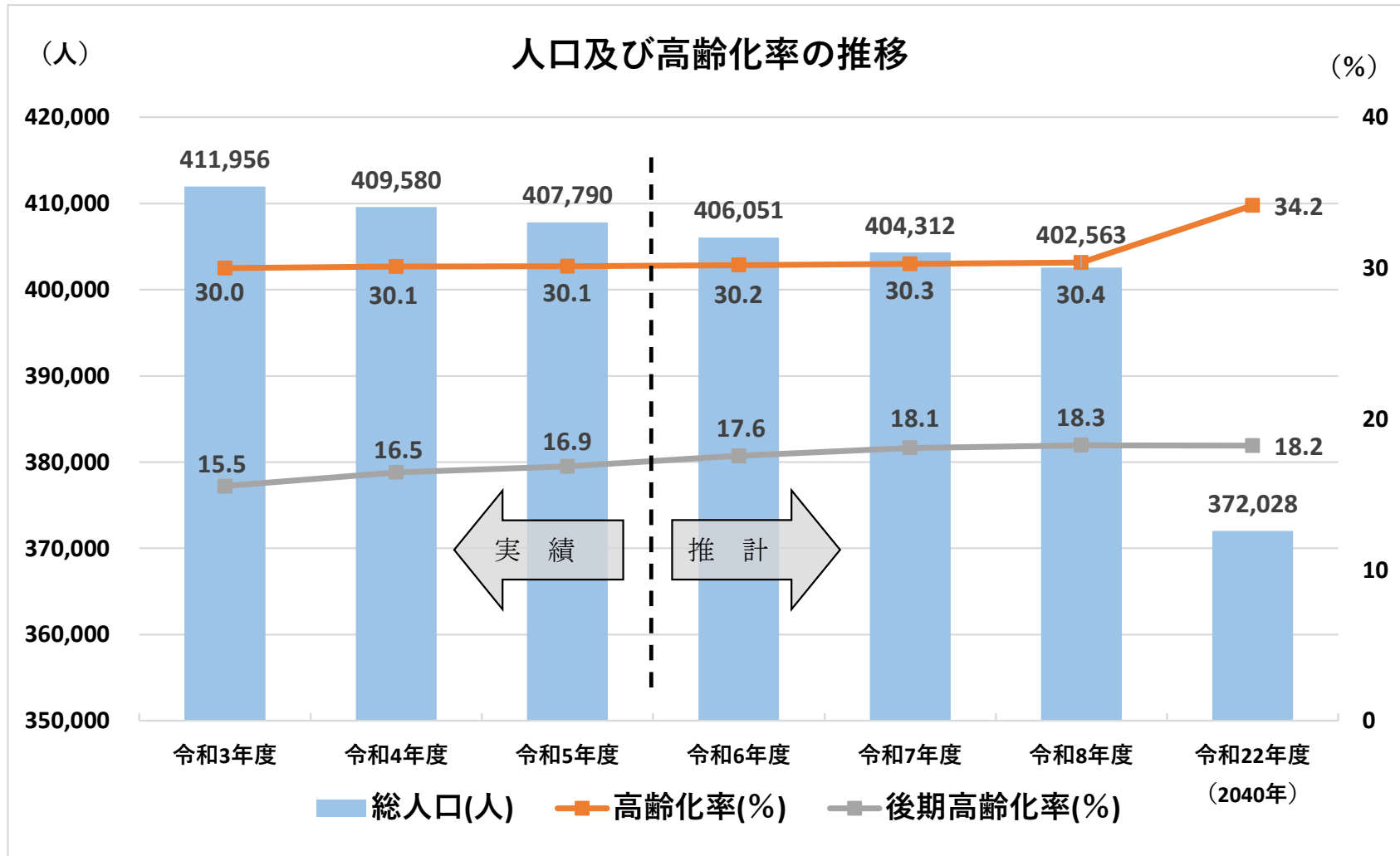
水橋地区、八尾等地区、大山地区、岩瀬等地区で高齢化率が35%を超えている。



③ 富山市の将来推計について（人口と高齢者数、高齢化率）

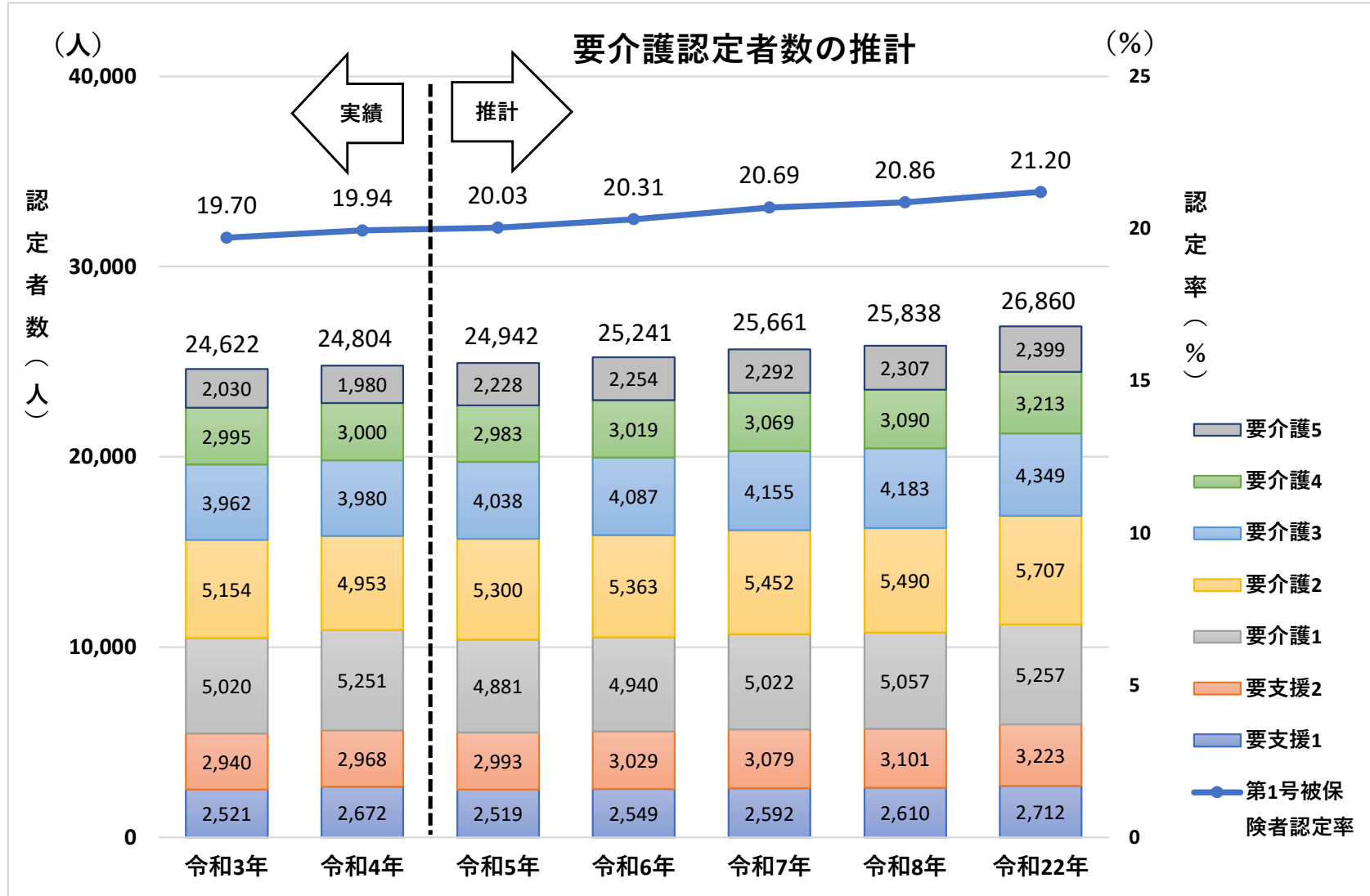
■富山市の総人口は、令和8年度には40万3千人まで減少する見込み

■65歳以上の高齢者人口は令和8年度には12万2千人、高齢化率30.4%と予測され、後期高齢化率は18.3%まで上昇する見込み



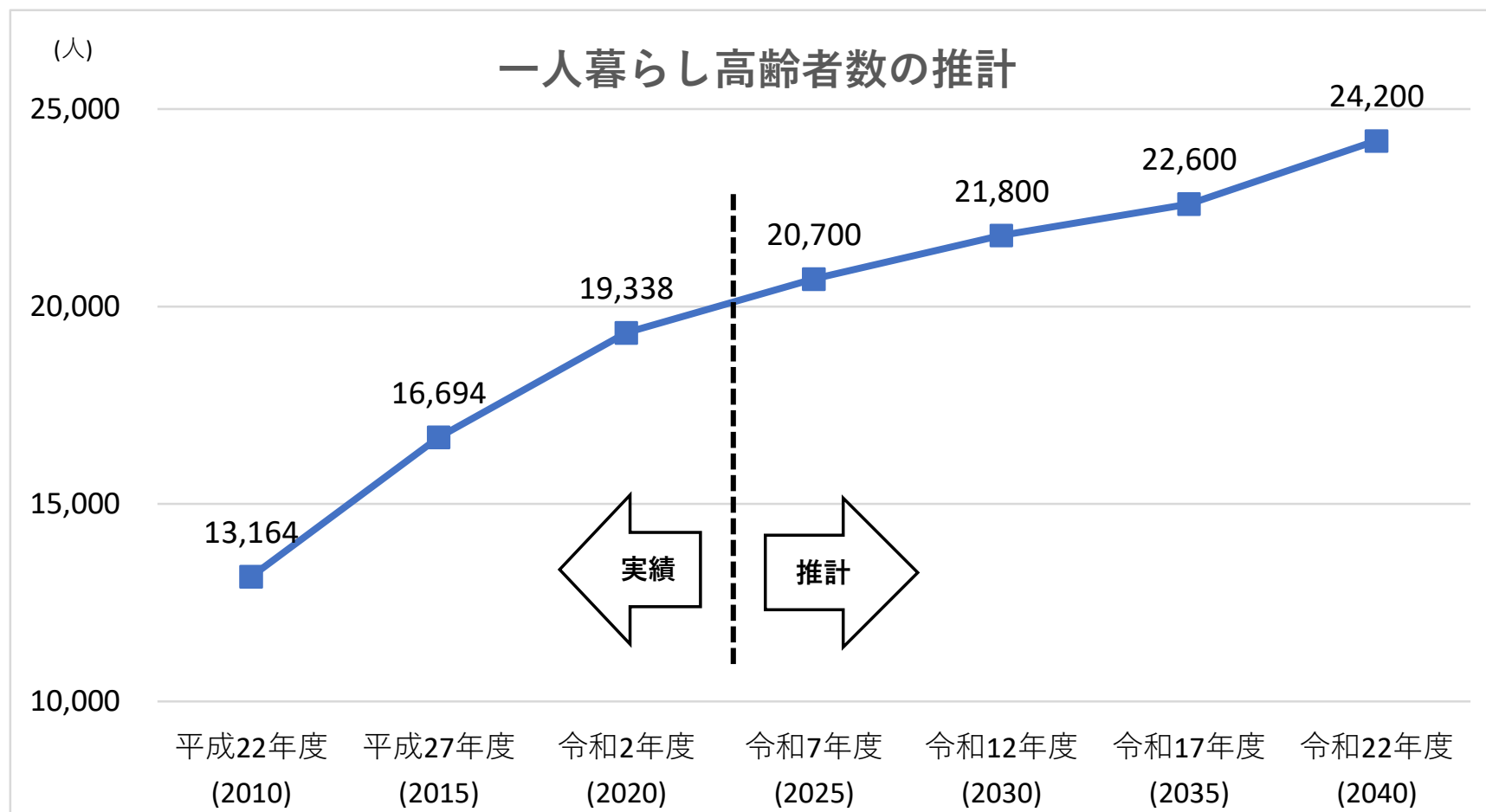
③ 富山市の将来推計について（要介護認定者数）

◆ 認定者数は、毎年増え続けるが微増となる見込み



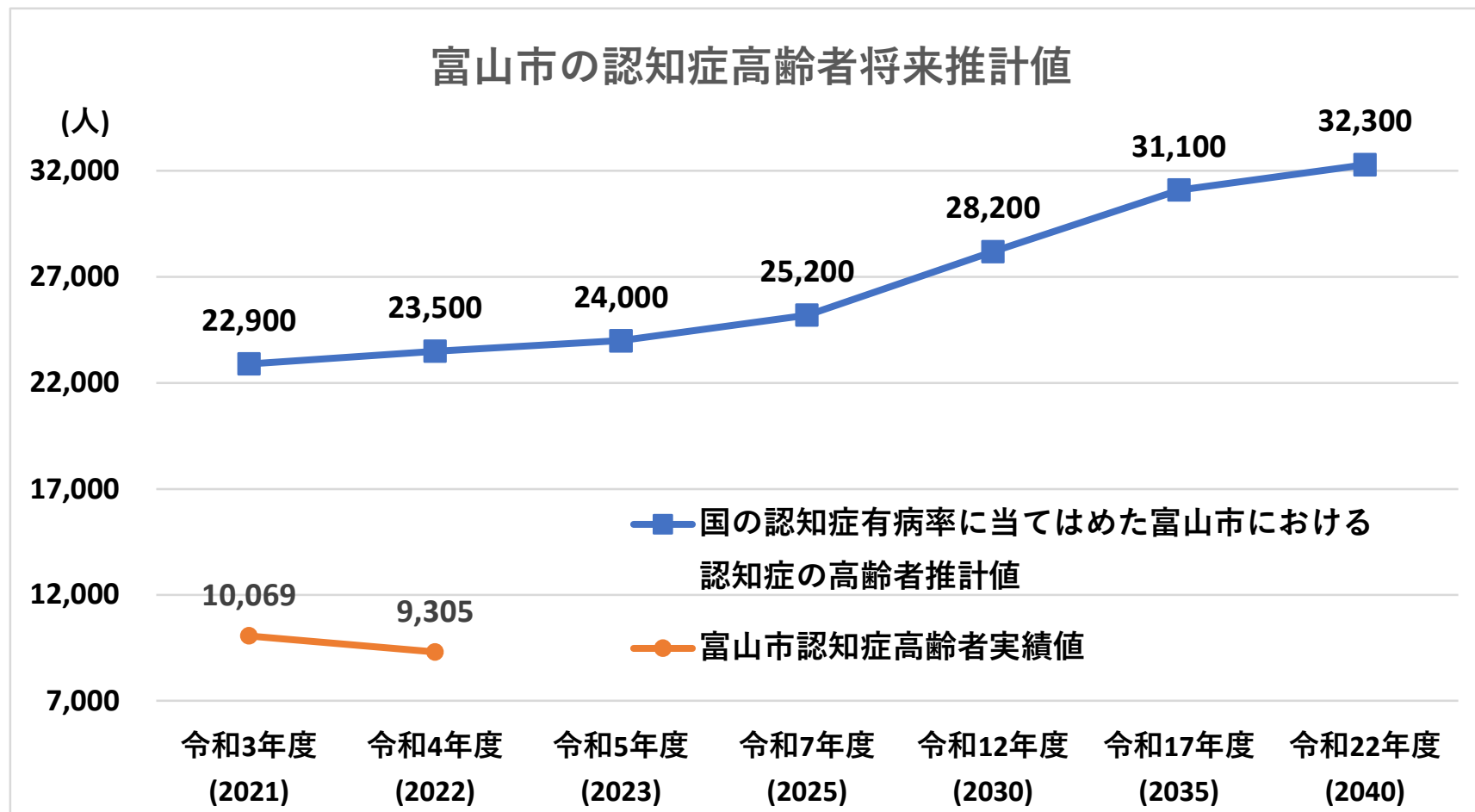
③ 富山市の将来推計について（ひとり暮らし高齢者）

核家族化など、家族構成の変化により、ひとり暮らし高齢者（65歳以上）は、令和7年度（2025年）には約2万1千人と大幅に増加する見込み



③ 富山市の将来推計について（認知症高齢者）

■国の推計によると、認知症の人の数は令和7年には730万人まで増加し、5人に1人が認知症になる見込み。本市の認知症高齢者数は、令和7年には25,200人になると推計。



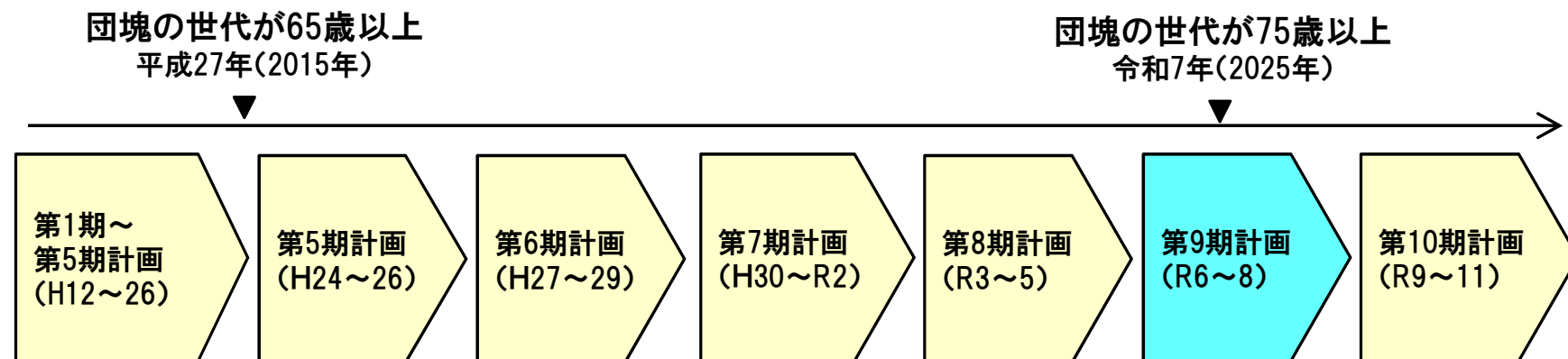
※令和3・4年度は要介護認定の認定調査件数が減少したため、認定調査を基に算定している富山市認知症高齢者実績値も減少している。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時的に要介護認定の有効期限延長措置をとったため、認定調査件数が減少した。）



4 次期高齢者総合福祉プランの策定について

① 高齢者総合福祉プランの計画期間

第9期となる次期計画では、現行計画の進捗状況を検証・分析するとともに、団塊世代が75歳以上になる令和7年(2025年)を目指した地域包括ケアシステムの整備、更に現役世代が急減する令和22年(2040年)の双方を念頭に、高齢者人口や介護サービスのニーズを中長期的に見据えた検討を行います。



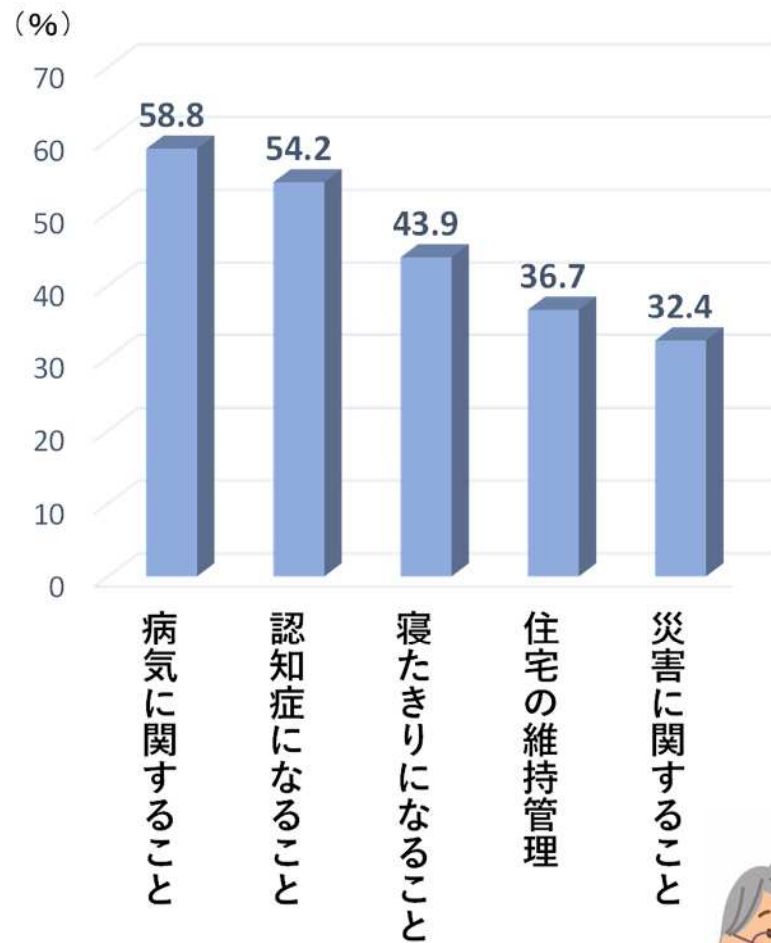
② 富山市高齢者保健福祉実態調査

1. 調査の概要

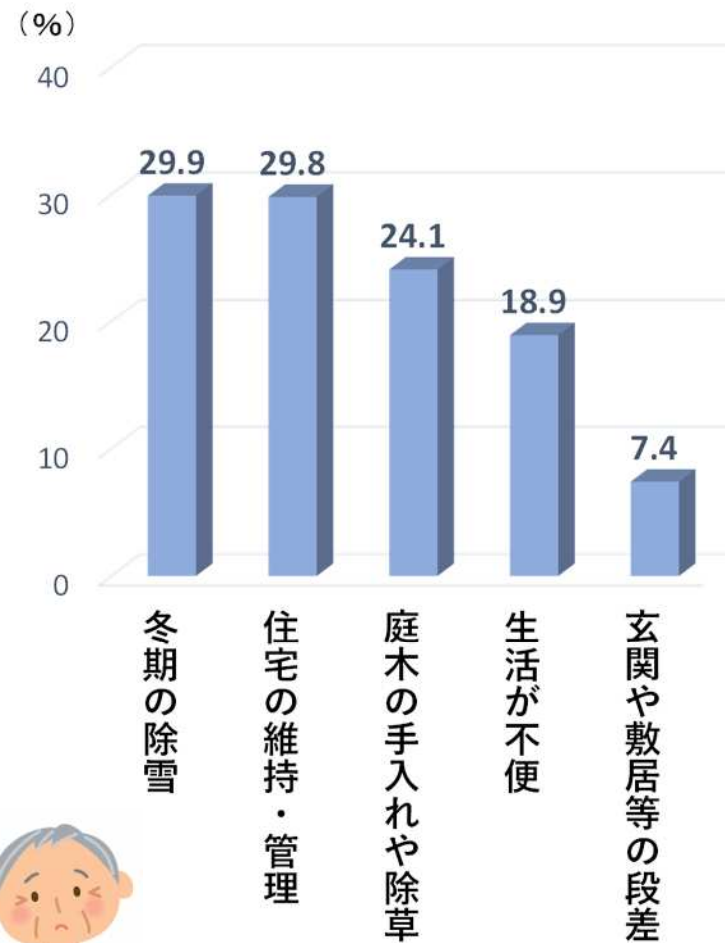
- (1) 調査の内容：高齢者を取り巻く生活環境や保健福祉等に対する意見
- (2) 調査地域：富山市全域
- (3) 調査対象：令和4年12月1日現在、65歳以上の方
(要介護認定者を除く)
- (4) 調査対象者数(標本数)：3,600標本(無作為抽出)200人×18圏域
- (5) 調査方法：郵送による配布と回収
- (6) 調査期間：令和5年2月7日～2月17日
- (7) 有効回答数：2,505標本(69.6%) ※前回調査(R2) 72.9%

② 調査結果（生活状況について）

■生活の中で不安に思うこと
（複数回答可、上位5項目）

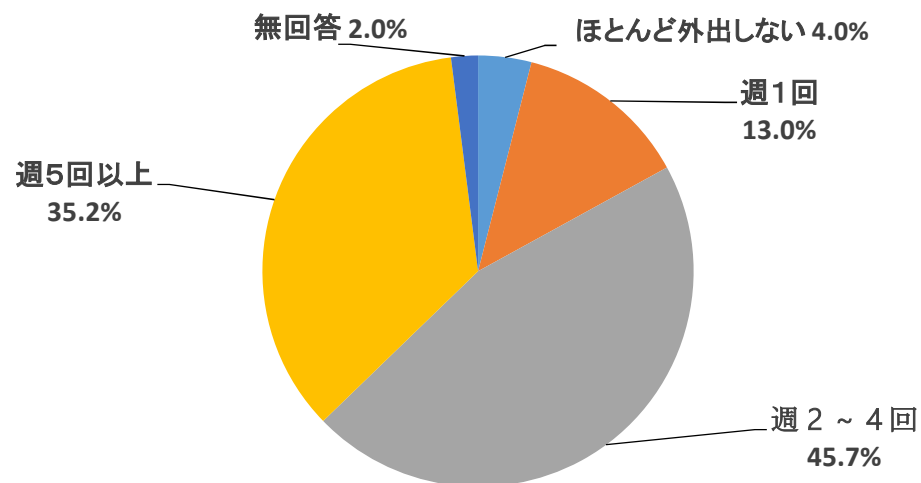


■現在の住まいで困っていること
（複数回答可、上位5項目）

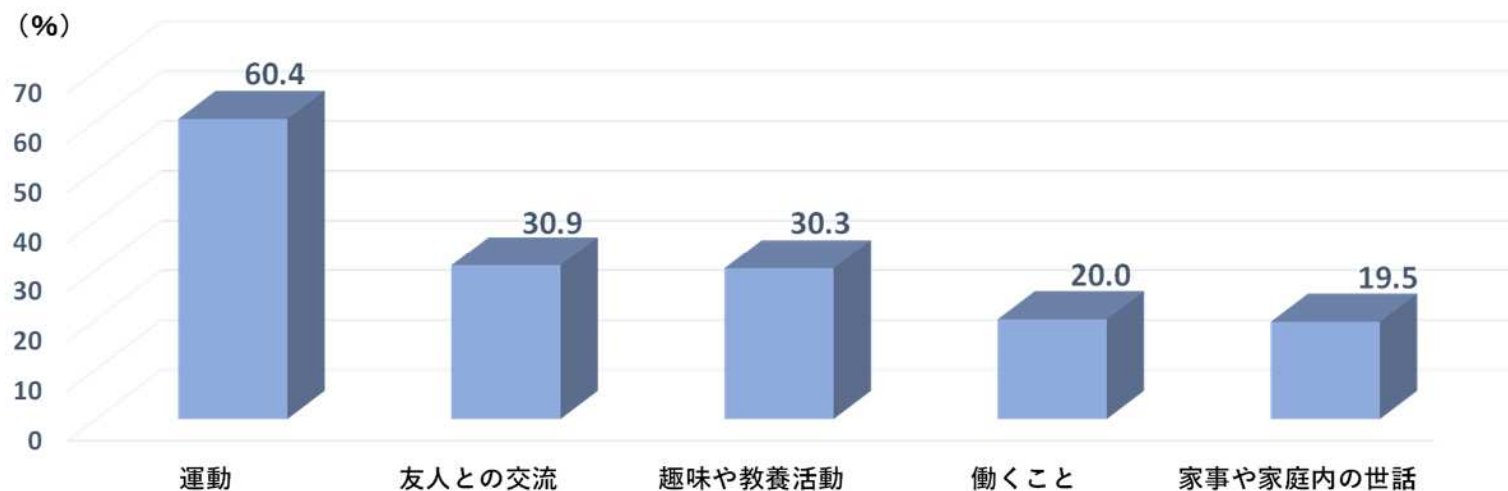


② 調査結果（外出頻度と健康づくりについて）

■外出頻度

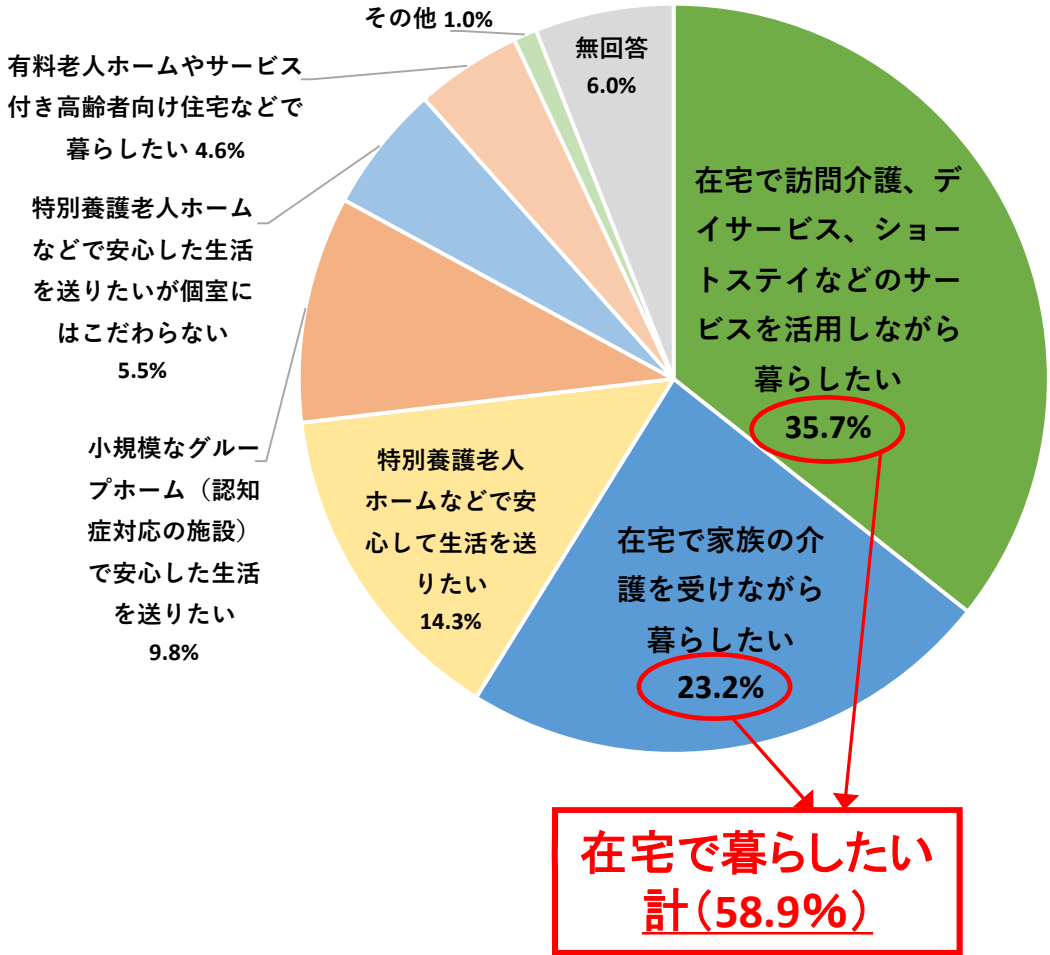


■健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと（複数回答可、上位5項目）

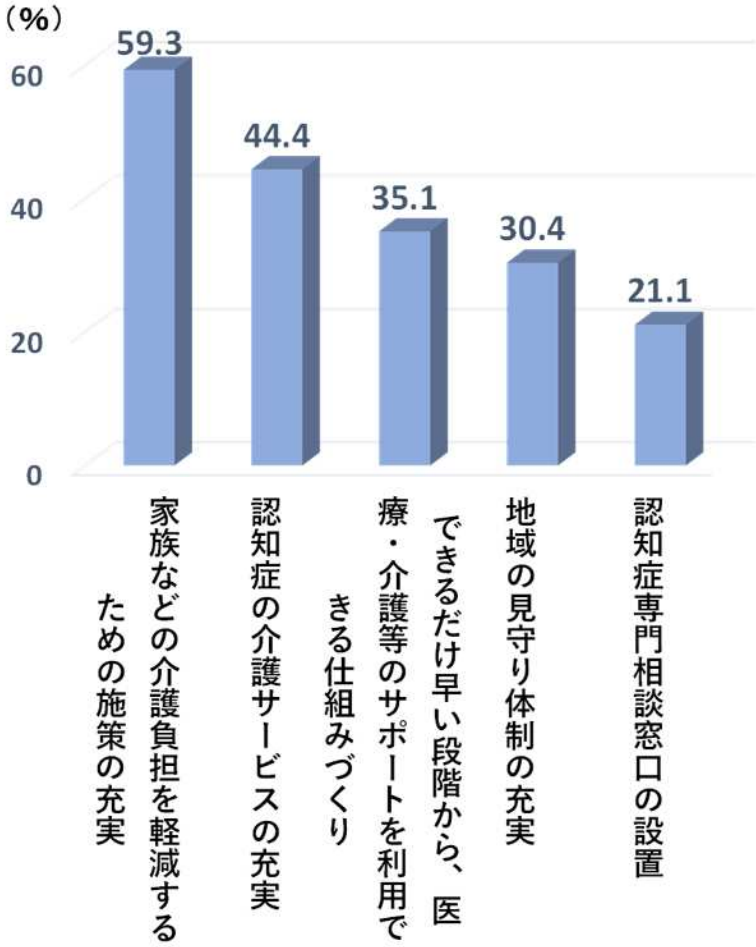


② 調査結果（介護保険制度の充実について）

■ 介護を受けながらの生活に対する希望（どれか1つ）

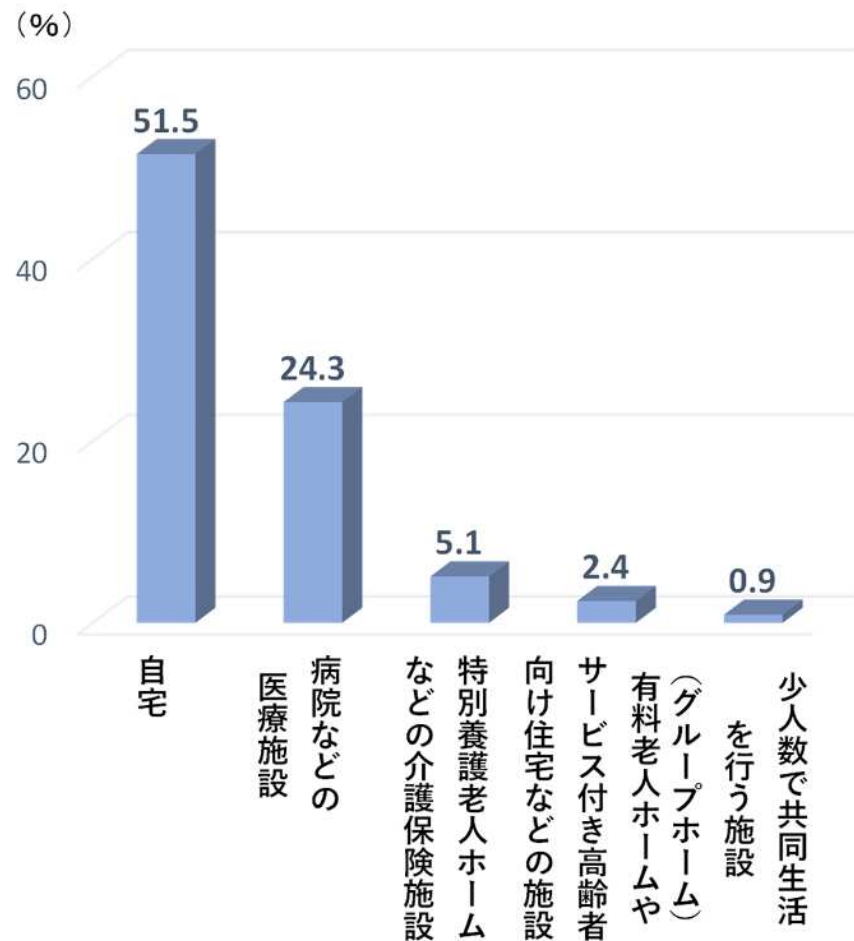


■ 認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援（複数回答可、上位5項目）

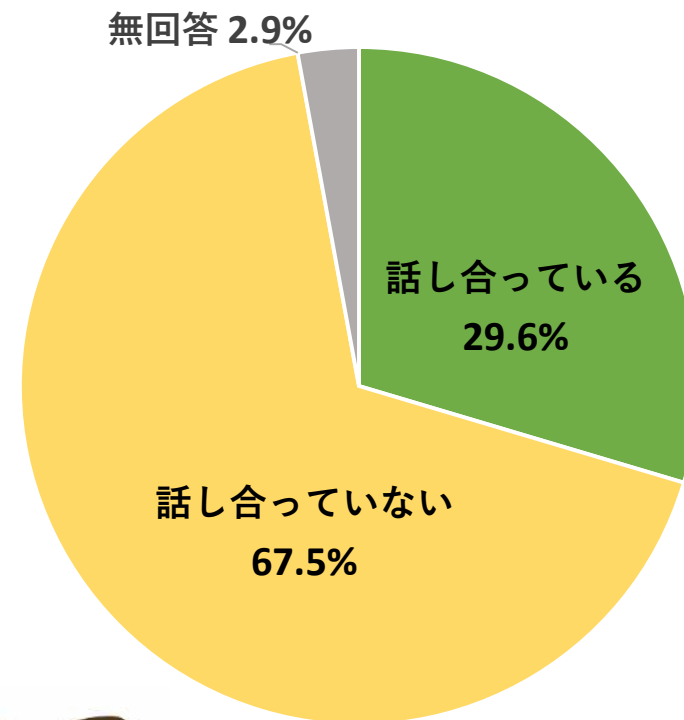


② 調査結果（医療について）

■希望する最期を迎える場所（複数回答可、上位5項目）



■人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているか。（どれか1つ）



③ 在宅介護実態調査

1. 調査の概要

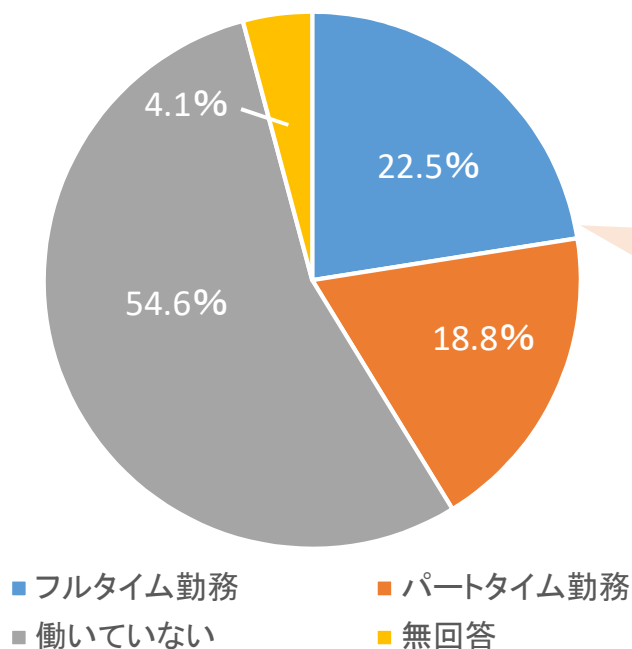
- (1) 調査の目的: 高齢者等の在宅生活の継続と介護者の就労継続に効果的なサービスを把握すること
- (2) 調査対象 : 在宅生活の要支援・要介護者のうち、更新申請等に伴う認定調査を受ける方とその介護者
- (3) 対象者数 : 991人
- (4) 調査方法 : 認定調査員による聞き取りにより実施
- (5) 調査期間 : 令和4年12月1日～令和5年1月31日
- (6) 有効回答数: 271人(27.3%)

③ 在宅介護実態調査

2. 調査結果に基づく分析と課題

【介護者の勤務形態・就労継続見込みの状況】

主な介護者の勤務形態



就労継続への意識について(働いている方)

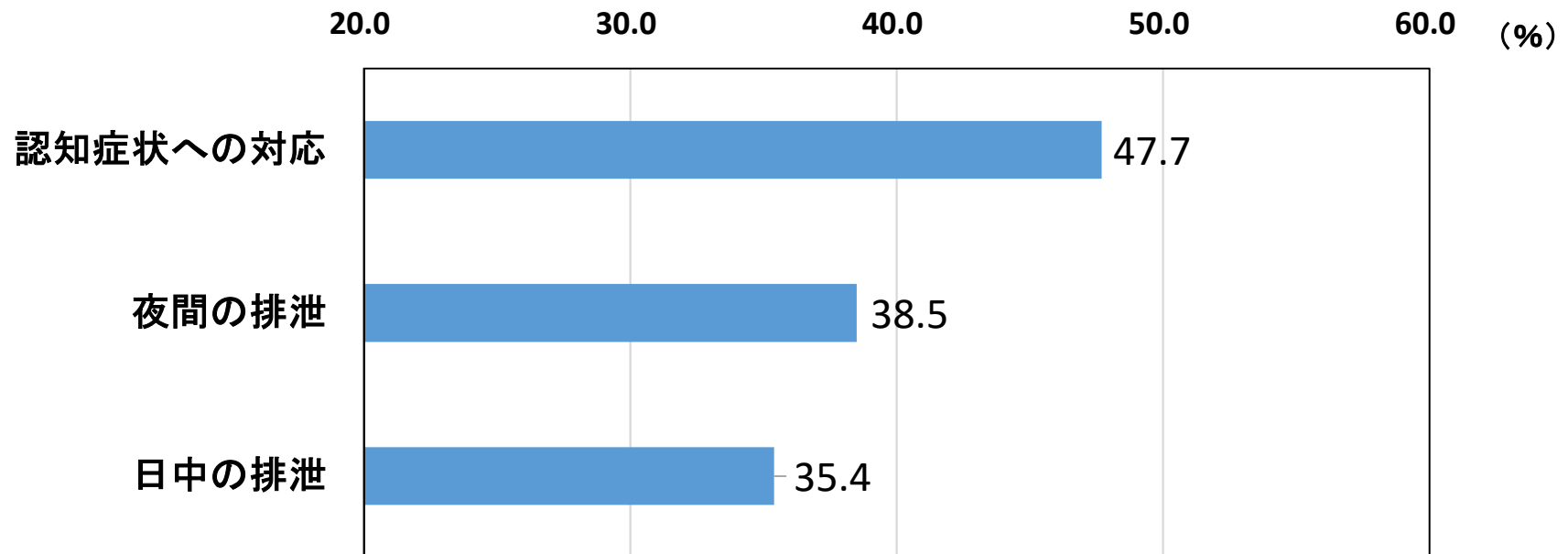
- ・問題なく、続けていける ...21.2%
- ・問題はあるが、何とか続けていける ...48.5%
- ・続けていくのは**やや難しい** ...**13.1%**
- ・続けていくのは**かなり難しい** ... **5.1%**
- ・わからない、未回答 ...12.1%

→就労継続が困難となっている介護者に対し、要介護者の状態や家庭の状況にあった適切なサービスを利用できるように、介護者に寄り添ったサービスの把握や、相談できる体制づくりが重要である。

③ 在宅介護実態調査

2. 調査結果に基づく分析と課題

【要介護度3以上・介護者が不安を感じる介護】（上位項目）



→要介護者の在宅生活をできる限り継続させるために「認知症状への対応」「排泄」に係る不安を軽減していく必要がある。

④ 介護事業者アンケート

1. 調査の概要

- (1) 調査の目的：事業所の介護保険制度、計画に対する
意見の把握
- (2) 調査対象：休止、みなし除く全799事業所
(地域包括支援センター含む)
- (3) 調査方法：メール・FAXによる質問配布・回収
- (5) 調査期間：令和5年5月23日～6月2日
- (6) 有効回答数：294事業所(36.8%)

④ 介護事業者アンケート

2. 調査結果の概要

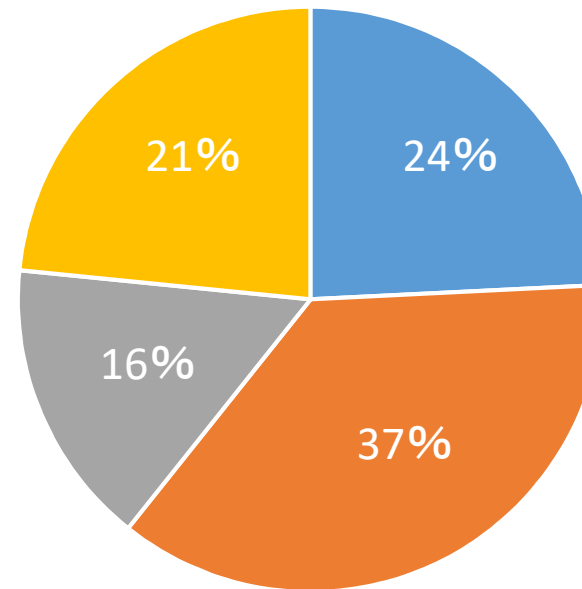
【介護人材について】

61%の事業所が「人材不足」もしくは、「どちらかといえば不足」と回答。

人材不足への対応方法は...

- ・職員の超過勤務で対応 ...27%
 - ・人員配置の見直し ...25%
 - ・他事業所との連携・協力 ...19%
 - ・受入人数等の規模縮小 ...12%
 - ・ICTの導入 ...11%
 - ・その他 ...6%
- (一部サービス休止、営業日の縮減 など)

人材不足について



- 人材不足
- どちらかといえば不足している
- どちらかといえば足りている
- 足りている

④ 国の動向について

第9期計画の基本指針のポイント

【令和5年7月10日開催 社会保障審議会介護保険部会】

1. 介護サービス基盤の計画的な整備

① 地域の実情に応じたサービス基盤の整備

- ・中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を捉えて、施設・サービス種別の変更など既存施設・事業所のあり方も含め検討し、地域の実情に応じて介護サービス基盤を計画的に確保していく必要
- ・医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ、医療・介護の連携強化が重要 など

② 在宅サービスの充実

- ・居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護など地域密着型サービスの更なる普及
- ・居宅要介護者の様々な介護ニーズに柔軟に対応できるよう、複合的な在宅サービスの整備を推進することが重要
- ・居宅要介護者を支えるための、訪問リハビリテーション等や介護老人保健施設による在宅療養支援の充実

2. 地域包括ケアシステムの深化・推進に向けた取組

① 地域共生社会の実現

- ・地域包括ケアシステムは地域共生社会の中核的な基盤となり得るもの。地域住民や多様な主体による介護予防や日常生活支援の取組を促進する観点から、総合事業の充実を推進
- ・地域包括支援センターの業務負担軽減と質の確保、体制整備を図るとともに、重層的支援体制整備事業において属性や世代を問わない包括的な相談支援等を担うことも期待
- ・認知症に関する正しい知識の普及啓発により、認知症への社会の理解を深めることが重要

② デジタル技術を活用し、医療・介護情報基盤を整備

③ 保険者機能の強化

- ・給付適正化事業の取組の重点化・内容の充実・見える化

3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上

- ・処遇の改善、人材育成支援、職場環境の改善による離職防止、外国人材の受入環境整備などの取組を総合的に実施
- ・都道府県主導の下で生産性向上に資する様々な支援・施策を総合的に推進。
- ・介護サービス事業者の財務状況等の見える化を推進

⑤ 介護保険料の状況

第8期介護保険料基準額 月額6,600円

	第5期 (H24~H26)	第6期 (H27~H29)	第7期 (H30~R2)	第8期 (R3~R5)
富山市	5,900円	6,300円	6,300円	6,600円
富山県平均 (加重平均)	5,513円	5,975円	6,028円	6,301円
県内最高	魚津市 5,980円	富山市 <u>6,300円</u>	富山市 <u>6,300円</u>	富山市 <u>6,600円</u>
全国平均	4,972円	5,514円	5,869円	6,014円

⑥ 第9期介護保険料をとりまく状況

1. 保険料の増(上昇↑)要因

① 高齢化の進展に伴う給付費の自然増 など

2. 保険料の減(抑制↓)要因

① 介護給付費準備基金の活用:約42.5億円 など

3. 制度改正の影響

・介護報酬の改定(国において検討中) など

⑦ 介護サービスの基盤整備状況（地域密着型サービス）

地域密着型サービス等の整備状況（対計画値）

地域密着型サービス	第7期	第8期			
	第7期末 選定分 まで ①	計画数 ②	整備数 ③	第8期 目標数 (①+②)	第8期末 (R6.3見込) (①+③)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	5か所	2か所	1か所	7か所	6か所
夜間対応型訪問介護	2か所	—	—	2か所	2か所
小規模多機能型居宅介護	28か所	2か所	2か所	30か所	※1 29か所
看護小規模多機能型居宅介護	5か所	3か所	—	8か所	5か所
認知症対応型共同生活介護	48か所 (669床)	2か所 (36床)	2か所 (27床)	50か所 (705床)	50か所 (696床)
認知症対応型通所介護	27か所	1か所	2か所	28か所	※2 27か所
地域密着型介護老人福祉施設	15か所	—	—	15か所	15か所
特定施設入居者生活介護	206床	90床 程度	20床	296床 程度	226床

●整備事業者の公募は令和3～4年度、整備は令和4～5年度に実施

※1 事業者の廃止 1件 ※2 事業者の廃止 2件

⑦ 介護サービスの基盤整備状況

介護3施設等の整備状況（中核市比較）

（人口10万人当たり）

	介護老人 福祉施設	地域密着型 介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護医療院	介護療養型 医療施設	介護保険 施設合計
1位	水戸市 (645床) 31施設	甲府市 (255床) 17施設	呉市 (565床) 17施設	高知市 (279床) 13施設	八戸市 (97床) 4施設	呉市 (1,245床)
2位	福井市 (572床) 21施設	高崎市 (210床) 30施設	秋田市 (435床) 13施設	富山市 (177床) 9施設	函館市 (60床) 3施設	福井市 (1,142床)
3位	鳥取市 (567床) 16施設	下関市 (206床) 19施設	鳥取市 (420床) 12施設	鳥取市 (135床) 5施設	長野市 (51床) 2施設	鳥取市 (1,128床)
4位	横須賀市 (560床) 21施設	山形市 (200床) 17施設	いわき市 (409床) 14施設	下関市 (130床) 7施設	旭川市 (39床) 2施設	富山市 (1,121床)
5位	松江市 (537床) 19施設	久留米市 (168床) 19施設	富山市 (409床) 17施設	松江市 (118床) 2施設	青森市 (39床) 2施設	下関市 (1,107床)
	22位 富山市 (425床) 26施設	19位 富山市 (86床) 14施設			11位 富山市 (24床) 2施設	
6.2中核市 平均	398床	69床	269床	35床	11床	784床

※1 【出典】厚生労働省「令和3年介護サービス施設・事業所調査」（令和3年10月1日現在）および総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（令和4年1月1日現在）

※2 介護療養型医療施設は令和6年3月31日までに廃止し、医療院等へ転換となる

⑧ 高齢者総合福祉プランの策定スケジュール

計画の策定に当たっては、市民の皆様からのご意見を伺う機会を最大限に設けます

	R5 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月
策定 委員会						第1回				第2回		第3回	計画の策定及び県への報告、公表 介護保険料改定等の条例改正案議会提出	
策定 懇話会						第1回				第2回		第3回		
調査等	保健福祉 実態調査			事業所への アンケート			地域懇談会				パブリック コメント			

R4.12 在宅介護実態調査(実施済み)